

学校番号	24	学校名	茨城県立勝田高等学校
------	----	-----	------------

令和7年度道徳教育全体計画

諸法規		校訓		生徒の実態	
・日本国憲法 ・教育基本法 ・教育諸法規 ・学習指導要領		創造、協働、挑戦		・市内及びその近隣市町村から通学する生徒が中ではあるが、広範囲から通学しており出身中学校数は多い。 ・素直で真面目な生徒が多く、90%以上が四年制大学への進学を希望していることから、熱心に学習に取り組む生徒も多い。 ・探究を軸とした活動に取り組むことで、様々なコンテストや検定試験への積極的な姿勢がみられる。部活動でも多くの生徒が活発に活動している。	
		学校の教育目標			
保護者の願い		グローバルな視野と起業家精神を兼ね備え、自ら人生を切り拓くとともに、「地域」と「世界」をつないで地域創生に貢献するグローバルリーダーを育成する学校		地域の実態	
		道徳教育重点目標			
・自分の行動規範において、的確に善悪の判断ができ、周囲に感われない自立的な人格の形成。 ・他人に対する思いやりと感謝の気持ちの涵養。 ・生命の尊厳を深く自覚し、自他の生命を大切にする態度の陶冶。		① 基本的生活習慣を確立し、節度を守り抑制に心がけ、心身の調和のある生活の実現に努める。 ② 他の人々の立場を尊重し、感謝と思いやりの心をもって接する。 ③ 生命の尊さを深く理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。 ④ 遵法精神についての理解を深め、自他の権利を尊重し、義務を確実に果たして社会秩序の維持、向上に努める。		本校の位置する旧勝田地区は、工業都市である。会社員世帯が多く、教育熱心な地域環境にある。	
各教科・科目		特別活動		生徒指導	
国語	様々な文章を読んだり、書くこと・話すことを通して、豊かな心情を養うとともに、多様な価値観についての見識を深める。	ホームルーム活動 ①何事にも誠意を持って取り組める生徒を育成する。 ②正しい判断力を持ち、自分の個性や能力を伸ばす努力の出来る生徒を育成する。 ③他人に対する思いやりの心を持つ生徒を育成する。 ④社会や学校等のルールを守ることが出来る生徒を育成する。 【生徒会活動】生徒会活動を通して、自主性を養い、自他の敬愛と協力によってよき公民としての資質を高め、併せて校風の向上を図る。 【学校行事】様々な学校行事を通して、協調性、社会性、豊かな人間性を養う。 【部活動】部活動の振興により健全な心身を鍛練する。		・時間を守る、身だしなみを整えるなど、規律ある生活態度を育成する。 ・より良いあいさつ、礼儀作法を会得する。 ・自分を大切にする心と、他者を思いやる心を育成する。	
地歴	歴史を学ぶことで、人類の教訓を会得し、地理を学ぶことで環境の中の自己に気づかせる。これらを柱に現実の社会の適応能力を育成する。				
数学	基礎・基本の徹底により、社会人として最低限の数学的思考方を身に付ける。	公民科		家庭との連携	
理科	生物の成り立ちや、この世界の物理的科学的法則などを学ぶことで、自己の存在の意味を理解し、確かな認識力を基本に生活する態度を育成する。				
保体	お互いに尊重しあって、練習・ゲームに取り組みさせ、体力の向上を図り、明るく豊かな生活が送れる態度を育成する。	公共		地域社会との連携	
芸術	芸術を通して情操を豊かにはぐくむとともに、長い人生を通して芸術とともに歩める人生を目指す。				
外国語	英語を通して異文化への理解を深め、人種・民族・宗教の違いによる差別、偏見をなくし、共存共栄の国際社会を築いていく礎とする。	●現代の問題を取り上げ、「自分とは何か」また、「他者とどう関わっていくか」を考え、公共性を育成していく。		●地域における行事やボランティア活動に参加し、支援する。 ●公開授業や学校行事への参加・協力を依頼する。 ●市役所と連携した活動を通して、地域貢献に取り組む。	
家庭	家族：親子関係を考える。高齢社会を考える。 保育：男女交際から妊娠・出産・育児を通して、命の大切さを考える。食生活：心の健康を食生活をを通して考える。消費生活：消費生活を通して、循環型社会の実現を目指す。衣生活：TPOを考えた服装を考える。				
情報	情報及び情報技術を活用するための知識と技術を通して、情報に関する科学的な見方、考え方を養うとともに、情報に関する正しいマナー・モラルの考え方を身に付ける。				
総合的な探究の時間	人間としての在り方生き方を考え、また、自分を振り返りながらより良く生きていく気持ちを養う。さらに、グループ学習での協働作業を通して、視野を広げるとともに他者理解を深めていく。				
専門	開講科目なし				